

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
ビジュアルアーツ 専門学校	昭和37年4月1日	村中 修	〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地2-5-23 (電話) 06-6341-4407				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 大阪安達学園	昭和43年5月14日	安達 暁子	〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地2-5-9 (電話) 06-6344-3931				
目的	テレビや映画等の映像表現の方法や制作技術を学び、企画、撮影から編集に至るまでの映像制作業界に就労できる職能を持ち、進化続けるメディアに対応できる人材を育成する。						
分野	課程名	学科名	専門士		高度専門士		
工業	映像・音響 専門課程	放送・映画 学科	平成6年文部科学 省告示第84号		—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,920	512	318	1,090	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数
280人	191人		5人		6人		11人
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 課題評価、試験等評価により		
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:7月17日～9月2日 ■冬季:12月25日～1月6日 ■学年末:3月11日～3月31日			卒業・進級条件	卒業条件:規定単位修得及び卒業 課題に合格し且つ学費の完納者 進級条件:卒業見込み者		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 本人及び保護者へのカウンセリング等			課外活動	■課外活動の種類 エクステンション講座、合宿、学校祭等 ■サークル活動: 無		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 (株)テイクシステムズ、(株)ディ・コンプレックス、(株)東通インフィニティ、映像・放送業界 ■就職率 ^{※1} : 83.1 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 71.2 % ■その他 (平成 26 年度卒業者に関する平成27年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	JPPA 映像音響処理技術者資格認定試験 平成27年度 受験21名/合格15名(合格率71%)		
中途退学の現状	■中途退学者 23名 ■中退率 10.6 % 平成26年4月1日 在学者 218名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 195名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)						
	■中途退学の主な理由 経済的理由、病気療養、進路変更、家庭の事情等						
	■中退防止のための取組 欠席者へ日々の電話連絡、学校行事(球技大会・合宿・学校祭等)への参加促進						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

社会が求めるニーズを敏感に読み取り、即応するカリキュラム編成とした実践教育を行うことを旨とする。業界の今を的確に捉え、求められる知識、技術の育成に力点をおき学ぶことで、社会と直結した教育機関のあるべき姿を具体化する。教育効果を客観的視点で評価し、改善の方法を探るための評議の場を設ける。本方針を共有できる企業との連携を力強く緊密に行い、業界の状況に即した弾力的なカリキュラム編成とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年10月15日現在

名 前	所 属
西村 幸男	関西映像プロダクション協会 幹事
吉川 直哉	宝塚造形大学 造形学部部長
藤井 卓	株式会社 タック 代表取締役
三好 和也	有限会社 ちゆるんカンパニー 代表取締役

(開催日時)

第1回 平成26年8月 5日 10:00～11:00

第2回 平成27年3月11日 10:00～11:00

第3回 平成27年8月 5日 10:00～12:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

映像制作の現場に必要な技能を確認し、教員と企業で協議を行いながらカリキュラムを作成する。その上で学生へ作品制作の指導を、実施期間の冒頭と完了時に行う。完了時は、制作した作品を視聴し、審査・批評を行う。卒業制作に関しては採点を行い、優秀な作品に関しては一般の劇場での上映会を行ったり、学生作品コンテスト等に出品をする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
作品制作	学生が志向する映画やドラマ作品、番組を企画プレゼンし、作品を選び制作する。演出系技術系、双方の作業を現場に近い形で実践する。完成作品は企業に審査・批評される。	有限会社 イサナ 有限会社 ムービーワーク ショップ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「研修等」を実施し、教員として必要な知識と質の向上を図り、学生の知識・技能等の修得と充実した学校生活を提供できるよう、定期・不定期に拘らず関係教職員の指導力向上を目指すことを目的として実施するものとする

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年10月15日現在

名 前	所 属
山本 眞弘	株式会社 夢現社 代表取締役社長
本井 啓治	本井公認会計士事務所
藤井 卓	株式会社タック 代表取締役
橋本 匡史	株式会社 東京ビジネス
下城 惇	東方典礼カトリック教会 総大司教
渡邊 政人	株式会社アйдマフォト 大阪デザイナー専門学校 卒業生
小笠原 圭彦	小笠原写真事務所 ビジュアルアーツ専門学校卒業生
高田 泰生	株式会社サップス 大阪ビジネスカレッジ 卒業生
森本 博士	株式会社 創英 取締役社長 大阪観光専門学校 卒業生保護者

(学校関係者評価結果の公表方法)

<http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

<http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/>

授業科目等の概要

(映像・音響専門課程 放送・映画学科 2年制) 平成26年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			基礎演習	小型ビデオカメラを用いての個人製作。企画・撮影から編集までのプロセスと映像表現の基礎を学習する。	1通	132	4			○	○			○	
○			VTR実習	ビデオ制作全般の実習を通して、番組やビデオパッケージを作るための企画、撮影、編集の技能をつける。	1通	198	6			○	○			○	
○			映画実習	映画を企画するところからはじめ、映画撮影の技術から照明、録音、編集までの技能を学び、映画制作作業の全体を理解する。	1通	198	6			○	○			○	
○			シナリオ演習	シナリオの形式や構成、表現方法を学び、実作しながら能力を高め、演出、制作などの職種に必要な技能を身に着ける。	1通	132	4		○		○			○	
○			映像技術	ノンリニア編集機を使い、ビデオ、映画の編集技能を身に付ける。様々なアプリケーションにも触れ、最新の技術を学習する。	1通	66	2			○	○			○	
○			映像理論	映画工学からビデオ工学にいたる理論を学ぶ。レンズや絞りの構造や特性にも触れる。また映像の歴史を通して、その可能性を探る。	1通	132	4	○			○			○	
○			映像研究	古典から最新作まで、多くのジャンルの作品を鑑賞し研究・分析する。	1通	132	4	○			○			○	
合計					7科目	990単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し且つ卒業検定を受理されること	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(映像・音響専門課程 放送・映画学科 2年制) 平成26年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			作品制作	学生が志向する映画やドラマ作品、番組を企画プレゼンし作品を選び制作する。演出系技術系、双方の作業を現場に近い形で実践する。完成作品は企業に批評を受ける。	2通	248	8			○	○			○	○
○			企画演出演習	様々なジャンルの企画の立案、演者に対する魅力ある演出、撮影のテクニックについて、演習を交えながら、学んでいく。	2通	124	4		○		○				○
○			技術演習	ENG取材からスポーツなどのEFP収録、スタジオでの番組収録の技術を現場を再現した設備で習得する。	2通	62	2		○		○				○
○			VTR技術	映像制作に必要な作業を、映像制作現場の実際に即して学習する。	2通	124	4			○	○				○
○			映画技術	最新の映画映像表現を分析し、そのテクニックを学ぶ。また映像作品を制作する上での必要な表現技能の向上も図る。	2通	124	4			○	○				○
○			表現理論	メディアの研究から始まり、映画、テレビだけでなくいろいろなジャンルのメディア表現を学び、映像表現の未来像を考える。	2通	62	2	○			○				○
○			表現研究	新しい表現の映画やテレビ作品、アニメ、演劇などを観賞し、分析する。	2通	124	4	○			○				○
○			教養講座	就業に必要な教養や社会的マナー、映像制作者に必要なコンプライアンスを学ぶ。	2通	62	2	○			○				○
合計						8科目					930単位時間(単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し且つ卒業検定を受理されること	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。